

トウキ・センキュウにおける除草機を用いた除草の省力化

薬用作物のトウキとセンキュウはセリ科の多年生植物で、根部が漢方薬等の原料となります。登録除草剤が少なく、手取り除草が中心の除草体系のため、省力化が求められています。また、センキュウでは、培土によりソロバン根(図2)が増加し、品質低下の要因となるため、培土作業ができません。

【1 成果の内容】

- (1) 慣行の手取り除草体系(トウキ6回、センキュウ4回)のうち1~2回の手取り除草を機械除草(図3、図4)に置き換えることで除草が省力化できます(図1)。
- (2) 機械除草により雑草本数はトウキで60~70%程度、センキュウで85%程度減少します。
- (3) 機械除草により作物に多少の損傷が見られますが収穫物の品質、収量に影響はありません。

慣行 除草体系	月 旬	10		4		5		6		7		8		9		10		
		下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
トウキ		●			◇				中耕・手取り除草 6回									×
センキュウ					●		◇		中耕・手取り除草 4回									×

●:定植 ◇:除草剤散布 ×:収穫 ※慣行は除草剤を使用しない農家が多い



機械 除草体系	月 旬	10		4		5		6		7		8		9		10		
		下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
トウキ		●					◇		中耕・手取り除草 4回 + 機械除草2回									×
センキュウ					●		◇		中耕・手取り除草2回 + 機械除草2回									×

●:定植 ◇:除草剤散布 ×:収穫



図2 センキュウのソロバン根(○部分)
注) ソロバン根は出荷できない

図1 慣行除草体系と機械除草体系

機械除草で省力化!

【3 留意事項】

- (1) 株間除草は欠株等のリスクがあるため、作物が十分に生育してから除草を行ってください。
- (2) 作業速度は1.2~1.3km/h、10aあたり作業時間は50~60分です。
- (3) 除草機はレーキ式条間・株間除草機(株間2条、条間3条タイプ)を歩行型管理機に装着したものです。



図3 レーキ式条間・株間除草機



図4 除草時の様子(センキュウ)

※本成果は農林水産省委託プロジェクト研究「生産現場強化のための研究開発-多収阻害要因の診断法および対策技術の開発で得られた成果です。

担当研究室 県北農業研究所 作物研究室

〒028-6222 岩手県九戸郡軽米町大字山内 23-9-1 TEL. 0195-47-1073 FAX. 0195-49-3011